

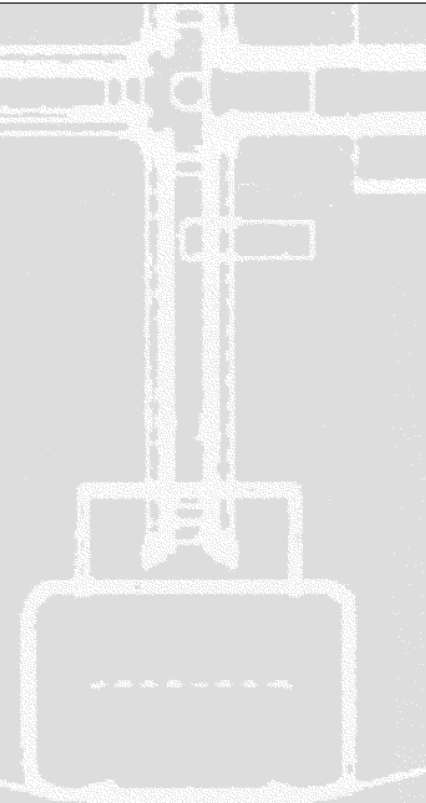
Genie®



操作説明書 メンテナンス情報付属

First Edition
Ninth Printing
Part No. 39527JA

GS™-1530
GS™-1930



重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認可された担当者以外は操作を行わないでください。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置いてください。質問がございましたら **Genie Industries** までご連絡ください。

目次

	頁
安全規則	1
凡例	8
操作	9
操作前の点検.....	11
安全確認	13
機能テスト.....	15
作業場の点検.....	19
操作手順	20
輸送手順	23
ステッカー.....	24
床位置での積載.....	26
仕様	27

連絡先 :

インターネット : <http://www.genielift.com>
E-mail: techpub@genieind.com


Genie Industries

著作権© 1997 by Genie Industries

初版 :
初回印刷 1997年 3月
第二刷 1997年 8月
第三刷 1997年 10月
第四刷 1998年 4月
第五刷 1998年 8月
第六刷 1999年 6月
第七刷 1999年 8月
第八刷 2000年 7月
第九刷 2001年 1月

「Genie」は米国 Genie Industries およびその他の国における登録商標です。「GS」は Genie Industries の商標です。

本装置は ANSI/SIA 92.6-1999 に準拠しています。

 再生紙使用

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わないと、重傷または死に至ることがあります。

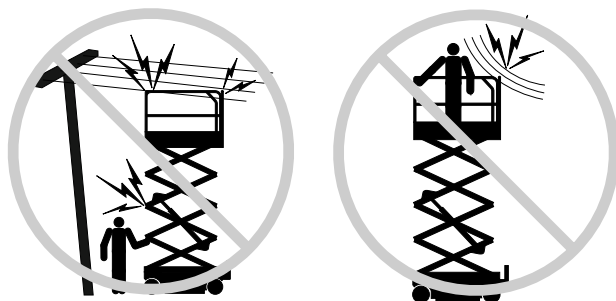
以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
 - 1 危険な状態を避けている。次のセクションに進む前に、安全規則を知り、理解する。
 - 2 常に操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用している。
- 下記をよく読み、理解し、従っている：
 - 製品使用説明書と安全規則-安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカー
 - 従業員の安全規則と作業場所の規制
 - 適用する行政の規則
 - あなたが安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械の電気は絶縁されていないため、電流に接触したり近づいた場合保護されません。



適用する行政の規制および次の図に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧 段階を追った	安全上の最小の 接近距離 メーター
0 ~ 300V	接触を避けてください。
300V ~ 50 KV	3. 05
50KV ~ 200KV	4. 60
200KV ~ 350KV	6. 10
350KV ~ 500KV	7. 62
500KV ~ 750KV	10. 67
750KV ~ 1000KV	13. 72

作業台の動きや電線の揺れ・たわみを考慮にいれ、強風・突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、通電している電線の電気が止められるまで機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

転倒の危険

作業員と装備の重量は、作業台最大積載荷重量もしくは作業台延長部の最大積載重量を超えてはなりません。

最大積載重量 — GS-1530	
作業台収縮時	272 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	159 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数 — ANSI、CSA	2
最大作業員数 — CE	
屋外使用	1
屋内使用のみ	2
最大作業員数 — オーストラリア	
屋内使用のみ	2



272 kg



延長部のみ
113 kg

作業台のみ
159 kg

最大積載重量 — GS-1930	
作業台収縮時	227 kg
作業台伸長時 — 作業台のみ	113 kg
作業台伸長時 — 延長部のみ	113 kg
最大作業員数 — ANSI、CSA	2
最大作業員数 — CE	
屋外使用	1
屋内使用のみ	2
最大作業員数 — オーストラリア	
屋内使用のみ	2



227 kg

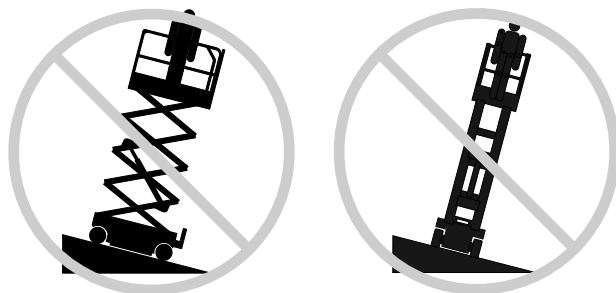


延長部のみ
113 kg

作業台のみ
113 kg

安全規則

機械を固い水平な地面に設置している場合以外は作業台を伸長しないでください。



傾斜アラームを傾斜表示器として使用しないでください。傾斜アラームは機械が斜面にある場合にのみ車台上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：

作業台を下げてください。機械を固い水平な地面に移動してください。作業台の上昇中に傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらって作業台を下げてください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台が上昇した状態では時速 0.7 km 以上で走行しないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



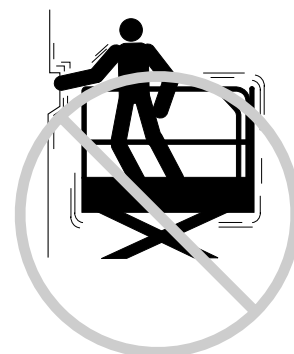
水平でない不安定な地面、もしくは作業台を上げるには危険な他の状態、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

収納された位置から、平らでない、残骸のある、安定していない、または滑りやすい場所を通して機械を走行しているとき、またくぼみや積降し位置の近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

何かの間に挟まったか引っ掛かった、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。地上操作を使用して作業台を解放する前に、すべての作業員は作業台から移動しなければなりません。

作業台の外の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大外圧力	
2名	445 N
1名	200 N



安全性と安定性をよくするために、機械の部品を改造したり使用不能にしないでください。

高所作業台を変更したり改造しないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台に取り付けると、踏み板もしくは手摺りのシステムが作業台、作業台の表面もしくは積載床面をの重量を増大させます。

機械の安全性に大きく関わる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。



作業台にはしごや足場を置かないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

安全規則

機械を、動いているか移動可能な面、もしくは車両上で、機械を使用しないでください。

すべてのタイヤが良好状態にあり、溝付きナットが適切に締められ、コッターピンが正確に取り付けられていることを確認してください。

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーは釣合おもりとして使用されているため、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。それぞれのバッテリーの重量は 29.5 kg でなければいけません。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体を作業台と一緒に押して動かさないでください。

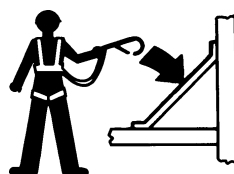
近くにある建造物と作業台を接触させないでください。

作業台を近くにある建造物につながないでください。

作業台パルメーターからはみだして荷を載せないでください。

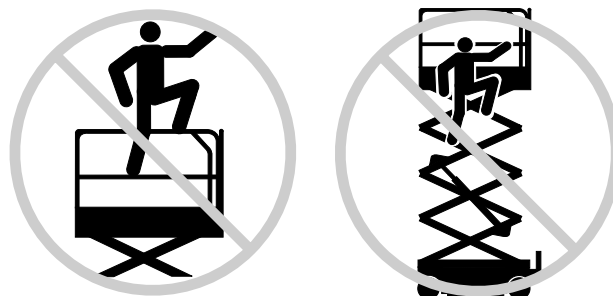
シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。

落下の危険



作業員は安全ベルトやハーネスを着用し、適用する行政の規制に従わなければなりません。荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりと足場を確保してください。



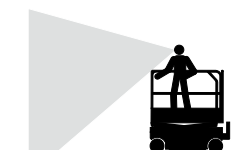
作業台の上昇中は作業台から降りないでください。

物の破片を作業台のそばに置かないでください。

作業台出入口のチェーンを取り付け、操作前に出入口ゲートを閉めてください。

手摺りが適切に取り付けてあり、出入口の安全が確保されていないかぎり機械を操作しないでください。

衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度や死角に留意してください。

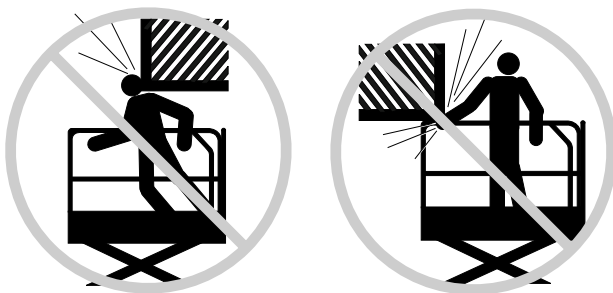
機械を移動しているときは延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解放する場合は、機械が水平面に止めてあるか、もしくは固定されていないかなりませぬ。

機械の操作時に従業員が認可されたヘルメットを着用されることをすすめます。

安全規則

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。



作業台手摺りをつかんでいるときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作にある色別された方向矢印と、走行・ステアリング機能のためのステッカープレートをよく見て操作してください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

作業台の下に人がいないか、また障害物になるものがないかを確認せずに、作業台を下げないでください。



地面の状態、まわりの混雑の具合、傾斜、人の位置、また他の衝突の要因となるものに注意して走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンもしくは頭上を移動する機械装置の軌道上では、クレーンの制御がロックがされ、さらに（もしくは）衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

破砕の危険

手、腕、脚をシザースに近づけないでください。

地上からコントローラーを使って機械を操作するときは、常識的な判断と手順をもって行ってください。オペレータ、機械、固定されたものの間は安全な距離を保ってください。

部品の損傷の危険

機械にアースを接地しないでください。

爆発と火災の危険

危険な場所や、可燃性または爆発性ガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作したりバッテリーを替えたりしないでください。

機械の故障の危険

故障や誤作動している機械は使用しないでください。

機器の操作前の点検を完全に行い、シフトの前すべての機能をテストしてください。故障している機械は直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と Genie GS-1530/ GS-1930 サービスマニュアルに記載されているすべての安全確認を必ず行ってください。

すべてのステッカーが所定の位置にあり、文字が読めるかどうかを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

安全規則

人体への傷害の危険

オイルや空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油の漏れは、皮膚に飛び散ったりやけどを負わせたりすることがあります。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、シグナル語を使用しています。



安全警報信号—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡事故の危険を避けるために全ての安全警告に従ってください。

▲ 危険

赤—差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷をおったり死亡事故の原因になります。

▲ 警告

オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷をおったり死亡事故の原因になります。

▲ 注意

安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

注意

安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

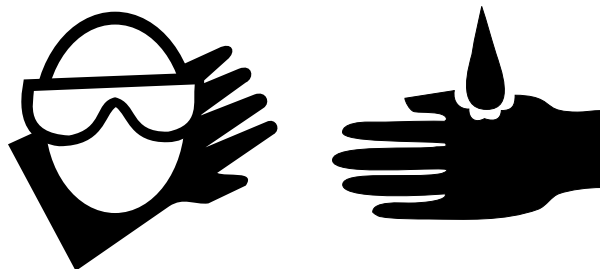
注記

緑—操作情報または安全情報を示します。

バッテリーの安全

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどを近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放ちます。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。

バッテリー端子やケーブルの留め金を、火花を放つ可能性のある道具と接触させないでください。

部品の損傷の危険

充電には 24 ボルト以上の充電器を使用しないでください。

感電の危険



充電器を接地された AC 3 ピンコンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブル、ワイヤが破損していないかどうか毎日検査してください。破損しているものは操作の前に取り替えてください。

バッテリー端子との接触による感電を避けてください。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

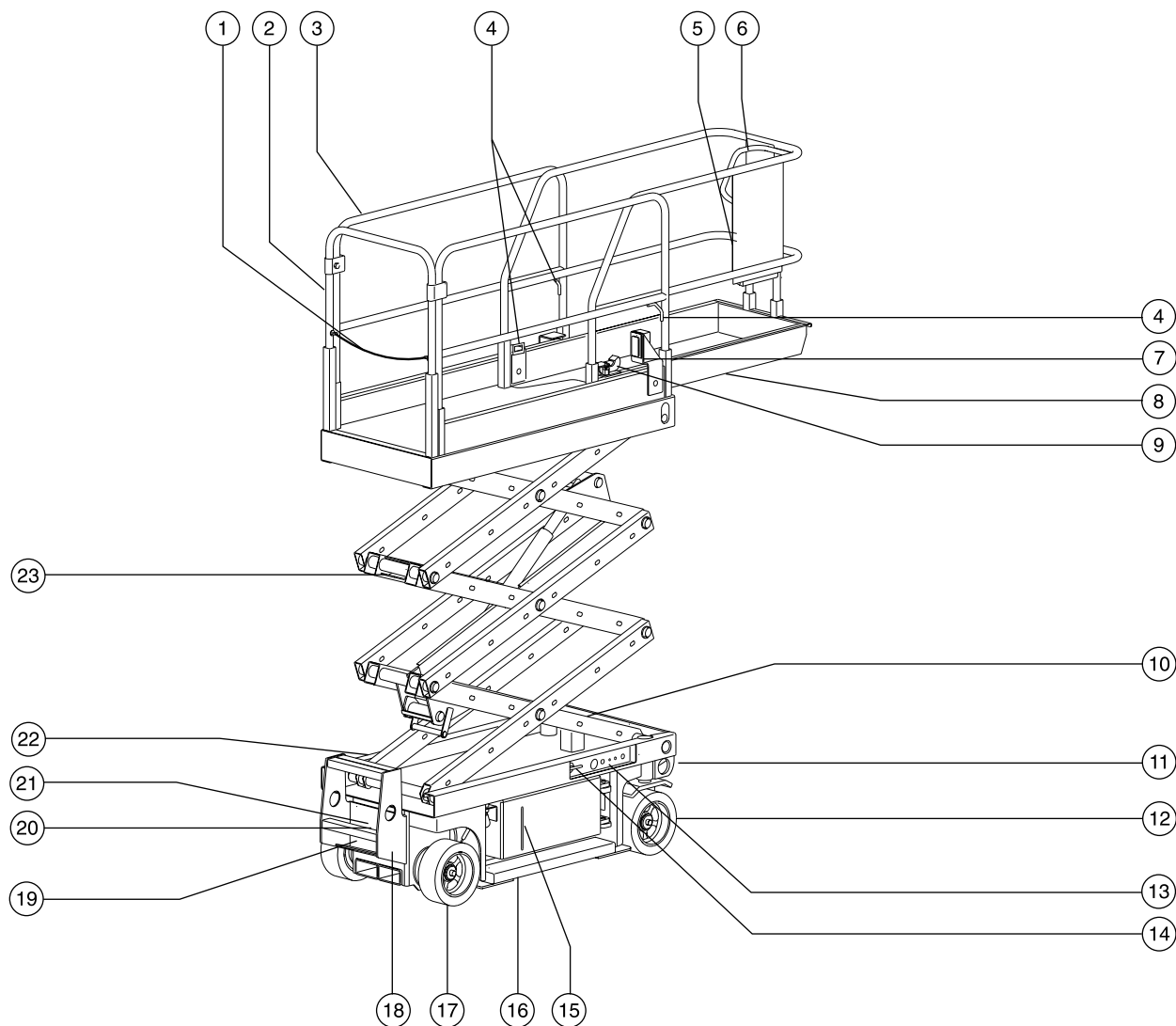
転倒の危険

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーは釣合おもりとして使用されているため、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。それぞれのバッテリーの重量は 29.5 kg でなければいけません。

持ち上げる危険

バッテリーを持ち上げるときは、適当な人数により適切な手段で行ってください。

説明

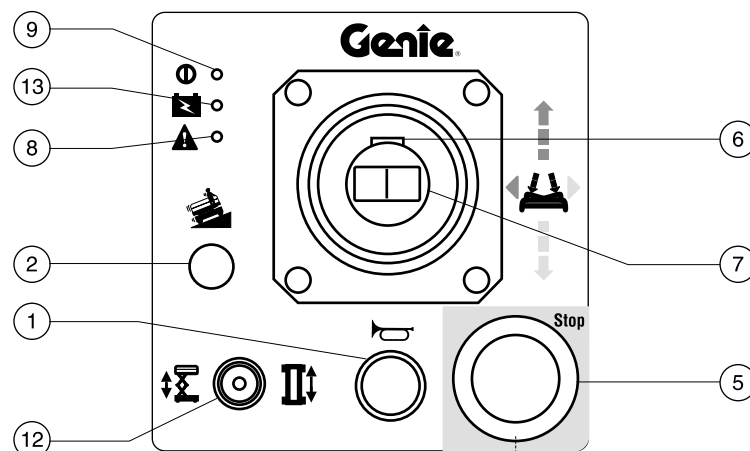
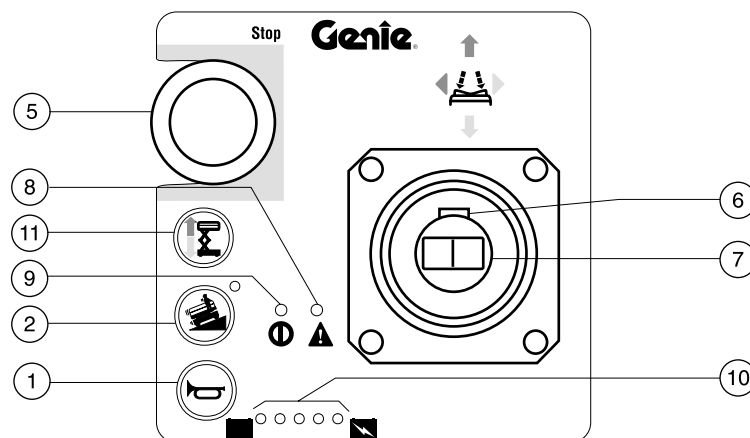
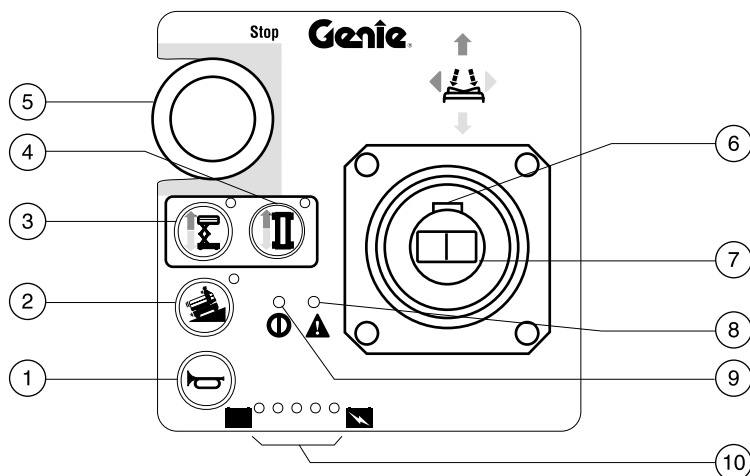


- 1 作業台出入りロチェン
または扉
- 2 作業台手摺り出入口
- 3 作業台手摺り
- 4 荷締め用箇所
- 5 マニュアル保管場所
- 6 作業台操作
- 7 GFCI 出力
- 8 作業台延長部

- 9 作業台延長解除ペダル
- 10 傾斜アラーム
(アンダーカバー)
- 11 輸送荷締め機
- 12 ステアリングタイヤ
- 13 地上操作
- 14 手動下降ノブ
- 15 作動油量表示器
- 16 ポットホール・ガード

- 17 非ステアリングのタイヤ
- 18 出入口ラダー／輸送荷締め機
- 19 バッテリー充電器
- 20 ブレーキ解除ポンプノブ
- 21 ブレーキ解除ノブ
- 22 LED診断読み取り
(機械の反対側)
- 23 安全アーム

操作



ジョイスティックコントローラー


- 1 ホーン
- 2 未使用
- 3 表示ランプ付きリフト機能セレクトボタン
- 4 表示ランプ付き走行機能セレクトボタン
- 5 非常停止ボタン
- 6 機能スイッチ
- 7 リフト／走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー
- 8 エラー表示ランプ
- 9 電源ランプ
- 10 バッテリーレベル表示器
- 11 リフト機能ボタン
- 12 リフト／走行セレクト・トグルスイッチ
- 13 バッテリー低下表示ランプ


下記のシンボルは本操作説明書中に記載されており、操作の指示を確認するのに役立ちます。


下記のシンボルは本操作説明書中に記載されており、操作の指示を確認するのに役立ちます。

このページのシンボルで機械のどのコントローラーかを認識し、また、文章中の記号ではコントローラーでどの作業をするかを認識します。

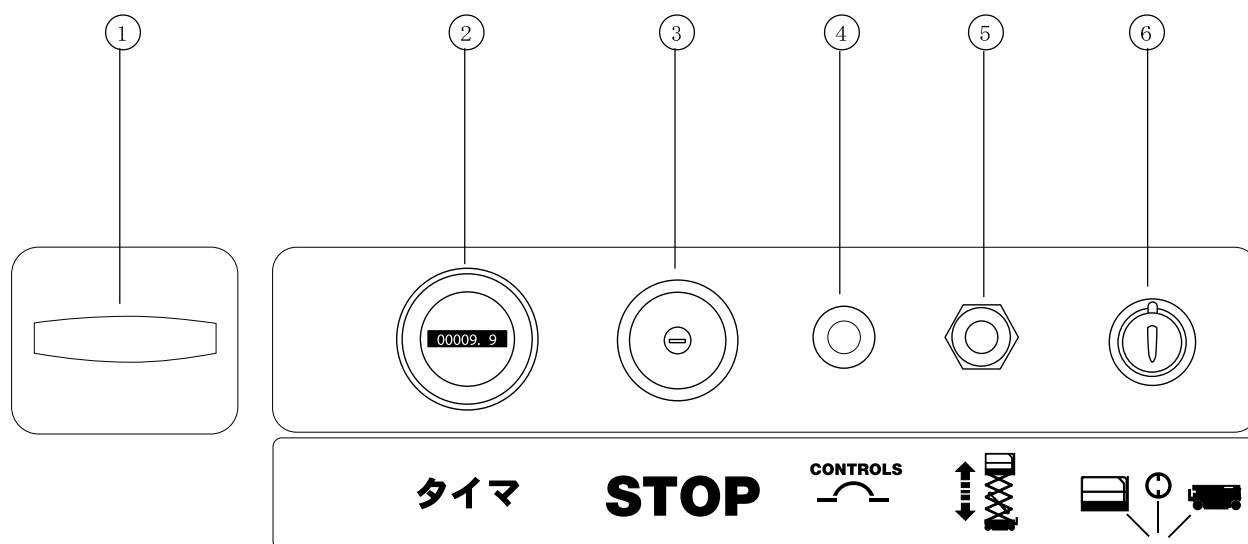
もしコントローラーのシンボルが記載されていないならば、作業は必要ありません。

 左上端にある、2つの機能セレクトと非常停止ボタン

 左上端にある、1つの機能セレクトと非常停止ボタン

 右下端にある、非常停止ボタン

操作



地上操作パネル

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1 手動下降ノブ | 4 電気回路ブレーカー |
| 2 タイマー | 5 作業台上下トグルスイッチ |
| 3 非常停止ボタン | 6 作業台/OFF/地上 セレクトキースイッチ |

操作前の点検



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
 - 1 危険な状態での使用を避けている。
 - 2 常に操作前の点検を行っている。
- 次のセクションに移る前に 作業前の点検をよく理解している。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原則

操作前の点検と規定の安全確認作業はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、機械を目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定の保守の処置が必要かどうかを決めます。この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が交換されていないか、損傷部品や、緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、工場からの輸送状態によって損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前にここでも操作前の点検を行ってください。

定期的な安全点検は認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- すべてのステッカーは、文字が読める状態で、所定の位置にあるか確認してください。ステッカーのセクションを参照してください。
- オイルの漏れと適した量をチェックしてください。必要であればオイルを足してください。安全確認のセクションを参照してください。
- バッテリー液の漏れと、適した量をチェックしてください。必要であれば蒸留水をいれてください。保守のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷している、変更されている、また、きちんと設置されていないか、たりなくなっている部品がないかどうかをチェックしてください。

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- バッテリーパックと接続
- 駆動モーター
- 磨耗板
- タイヤとホイール
- リミット・スイッチ、警報
- ナット、ボルト、他の締め具
- 作業台出入口チェイン、または扉
- ビーコン (ついている場合)
- 手動ブレーキ解除部品
- 安全アーム
- ポットホール・ガード
- 作業台のエクステンション
- シザースピンと抑制ファスナー
- 作業台操作ジョイスティック

機械全体をとおして下記をチェックしてください：

- 溶接や機械部品の割れ
- 機械のへこみと故障
- 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にしてください。
- 側面の手摺りが設置され、ボルトが締まっていることを確認してください。
- シャーシトレーが正しい位置に設置され、ラッチで留められ、適切に接続していることを確認してください。

安全確認



必ず従うこと：

- ☑ この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみ、オペレータによって行えます。
- ☑ 定期安全確認点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

安全確認記号の説明

注

下のシンボルは、指示の意図を伝えるために使用されています。安全確認手順のはじめに1つ以上のシンボルがあらわれる場合は、次の意味を伝えていきます。



この手順を行うために、道具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

オイルの量の点検



オイルの量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって大変重要です。オイルの量が適切でないと油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者はオイルの量を毎日チェックすることにより、オイルの量に変化がある場合には油圧システムでの問題を見つけることができます。

注

作業台を収納した状態でこの作業を行ってください。

- 1 油圧ユニットモジュールの横のゲージで油圧タンクのオイルの量を目視点検してください。
- ◎ 結果：オイルの量は、作動油量表示ステッカーの Full (満タン) と Add (追加) のマークの間を指し示す必要があります。
- 2 必要に応じてオイルを追加します。このときにあふれないようにしてください。

オイルの仕様

オイルのタイプ	Dexron またはそれに相当するオイル
油圧タンクの容量	20.8 リットル
油圧システム (タンクを含む)	22.7 リットル

安全確認

バッテリーの点検



機械の安全操作にはバッテリーが適切な状態になっていることが重要です。適切でない油圧レベル、あるいはケーブルまたは接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

▲ 警告 感電の危険。熱くなっている回線やライブ回線を触った場合は、重傷を負ったり死に至る場合があります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

▲ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

注 このテストはバッテリーの充電が終わってから行ってください。

- 1 保護服と保護用メガネを着用してください。
- 2 バッテリーケーブルが腐食していないか確認してください。
- 3 バッテリーの装着とケーブルの接続がきちんとなされているか確認してください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをとってください。
- 5 各バッテリーの酸の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。
- 6 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

定期安全点検

定期安全点検は、本装置の安全操作トレーニングを受け認定された担当者が本説明書の手順にしたがって行わなければなりません。

下記の安全点検は、認定された人が記録・保存し、4年間保管します。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

スケジュール

定期安全点検には4つのタイプがあり、スケジュールに従って、毎日、四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行うものがあります。それぞれの定期点検の内容に合わせて、**安全点検表**と**安全点検レポート**は4つのセクション (A, B, C, D) に分かれています。定期安全点検のどの手順を行うか、次の表を参考にしてください。

点検	表またはチェックリスト
毎日もしくは8時間ごと	A
四半期に1回	A + B
1年に1回	A + B + C
2年に1回	A + B + C + D

安全点検レポート

安全点検レポートには、それぞれのタイプの定期安全点検のチェックリストが含まれます。

安全点検レポートをコピーして、各定期安全点検に利用してください。安全点検の書類は全て3年間保存してください。

機能テスト



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
 - 1 危険な状態で使用を避けている。
 - 2 常に操作前の点検を行っている。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行っている。
- 次のセクションに進む前に、機能テストをよく理解している。
- 4 作業場を点検している。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

下記のシンボルは本操作説明書中に記載されており、操作の指示を確認するのに役立ちます。

このページと 9 ページにあるシンボルで機械のどのコントローラーかを認識し、また、文章中のシンボルではコントローラーでどの動作をするのかを確認します。

もしコントローラーのシンボルが記載されていない場合は、作業は必要ありません。



左上端にある、2つの機能セレクトと非常停止ボタン



左上端にある、1つの機能セレクトボタンと非常停止ボタン



右下端にある、非常停止ボタン付きコントローラ

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、段階的な指示にしたがって、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。誤作動が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

- 1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。
- 2 バッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

地上操作時

- 3 作業台と地上両方の赤い地上の非常停止ボタンを引いてオン位置にします。
- 4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 5 LED 診断をみます。
- ◎ 結果：LED は “—” もしくは “23” を読み出す。

非常停止のテスト

- 6 赤い地上非常停止ボタンを押してオフにします。
- ◎ 結果：機能は何も作動しません。
- 7 赤い地上非常停止ボタンを引いてオンにします。

機能テスト

上昇下降機能テスト

この機械の音による警告と標準ホーンは同じ中央アラームから生じます。ホーンは継続音です。降下アラームは1分間に60回警笛が鳴ります。ポットホール・ガードが位置についていない場合、アラームは1分間に300回の警笛を鳴らします。機械が水平でない場合、アラームは1分間に600回の警笛を鳴らします。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンもあります。

8 上昇機能を作動します。

◎ 結果：作業台があがります。

9 下降機能を作動します。

◎ 結果：作業台が下がります。作業台が下がっているときには下降アラームが鳴ります。

手動降下テスト

10 上昇機能を作動し、作業台を約0.6メートル上げます。

11 地上操作の隣にある手動下降ハンドルを引きます。

◎ 結果：作業台が下がります。下降アラームは鳴りません。

12 キー・スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作時

非常停止のテスト

13 赤い作業台非常停止ボタンを押してオフにします。

◎ 結果：機能は何も作動しません。

ホーンテスト

14 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。

15 ホーンボタンを押します。

◎ 結果：ホーンが鳴ります。


機能作動スイッチのテスト


16 コントロールハンドル上の機能作動スイッチを持たないでください。


17 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かしてください。

◎ 結果：機能は何も作動しません。

上昇下降機能のテスト

18  リフト機能セレクトボタンを押します。

 リフト機能作動ボタンを押したままにしてください。

 リフト／走行・セレクタースイッチをリフトの位置に動かします。(ついている場合)

19 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

20 操作ハンドルを青の矢印の方向へゆっくりと動かします。

◎ 結果：作業台があがります。ポットホール・ガードが位置につきます。

21 操作ハンドルを離します。

◎ 結果：作業台の上昇が止まります。

22 機能作動ボタンを押したままにします。操作ハンドルを黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。



機能テスト

- ◎ 結果：作業台が下がります。作業台が下がっているときには下降アラームが鳴ります。

CEモデル：作業台が下がったときは、地上から2.1 m のところで停止します。作業台の下に人がいないか、また物が置かれていないか確認してから作業を継続してください。続けて作業台を下げる場合は、操作ハンドルを離し、5秒間待ってから再度操作ハンドルを動かしてください。

ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを行っているときは、作業台上機械の端にあるステアリングに向かって立ってください。




- 23  走行機能セレクトスイッチを押します。
-  リフト／走行・セクタースイッチを走行の位置に動かします。（装備している場合）
- 24 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 25 操作ハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げてください。
- ◎ 結果：ステアリング・ホイールが操作パネルの青い三角が示す方向に回ります。
- 26 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げてください。
- ◎ 結果：ステアリング・ホイールが操作パネルの黄色い三角が示す方向に回ります。

走行ブレーキのテスト



- 27 機能作動ボタンを押したままにします。
- 28 コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かした後、ハンドルを中央位置まで戻してください。
- ◎ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、不意に止まります。
- 29 コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かした後、ハンドルを中央まで戻してください。
- ◎ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、不意に止まります。

注記：登れる斜面であれば、ブレーキは機械を止めることができます。

制限走行速度のテスト

- 30  リフト機能セレクトボタンを押します。
-  リフト機能作動ボタンを押したままにしてください。
-  リフト／走行・セクタースイッチをリフトの位置に動かします。（ついている場合）
- 31 機能作動ボタンを押したままにします。作業台を地上約 1.2 m まで上昇してください。
- ◎ 結果：ポットホール・ガードが位置につきます。

機能テスト

- 32  走行機能セレクトスイッチを押します。
 リフト／走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。（ついている場合）

- 33 機能作動ボタンを押したままにします。ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

- ◎ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は 0.2 m/秒を越えないでください。

作業台が上昇した状態で、走行速度は 0.2m/秒を越えた場合、直ちに故障の貼り紙を付けて使用を中止してください。

傾斜センサーのテスト

注記：このテストは地上で作業台操作を行ってください。作業台に立たないでください。

- 34 作業台を完全に下げます。

- 35 片側の 2 つのタイヤの下に 4×9 cm のブロックもしくは同様の木材を置き、機械がその上にくるように動かします。

- 36 作業台を上昇させます。

- ◎ 結果：作業台が地上から 2.1 m まで上昇する前にアラームが鳴らなければなりません。

- 37 作業台を下げ、両方の木材を取り除きます。

ポットホール・ガードのテスト

注記：作業台が上昇したらポットホール・ガードが自動的に位置につきます。ポットホール・ガードがもう一つのリミットスイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。ポットホール・ガードが位置につかない場合、アラームが鳴り、機械は走行しません。

- 38 作業台を上昇させます。

- ◎ 結果：作業台が 1.2 m に上がったら、ポットホール・ガードが位置につきます。

- 39 ポットホール・ガードの一方を押し、もう一方を押ししてください。

- ◎ 結果：ポットホール・ガードは動きません。

- 40 作業台を下げてください。

- ◎ 結果：ポットホール・ガードが閉じた状態になります。

- 41 4×9 cm のブロックもしくは同様の木材をポットホール・ガードの下に置きます。作業台を上昇させます。

- ◎ 結果：作業台が地上から 2.1 m に上がるとアラームが鳴り走行できません。

- 42 作業台を下げ、4×9 cm のブロックを取り除きます。

作業場の点検



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
 - 1 危険な状態での使用を避けている。
 - 2 常に操作前の点検を行っている。
 - 3 操作前に常に機能点検を行っている。
 - 4 作業場を点検している。
- 次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解している。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原則

作業場の点検によって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを決めることができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を認識し、機械の移動、セットアップ、運転時に気を配り危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態を知り、避けてください：

- 積降し場、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械からの負荷に耐えるには不適當な地面
- 風や天候の状態
- 必要関係者以外の存在
- 他に起こりうる安全でない状態

操作手順



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。
 - 1 危険な状態での使用を避けている。
 - 2 常に操作前の点検を行っている。
 - 3 操作前に常に機能点検を行っている。
 - 4 作業場を点検している。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原則

操作手順のセクションでは、それぞれの機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの義務です。

人や工具を空中の作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を持ち、安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

非常停止

地上操作もしくは作業台操作で赤い非常停止ボタンを押してオフの位置にし、全ての機能を停止します。

非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理してください。

地上からの操作

- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。
- 3 機械を操作する前にバッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

作業台を位置につける




- 1 操作パネルのマークに従って上下トグルスイッチを動かします。

走行およびステアリング機能は地上からは操作できません。

作業台からの操作

- 1 キー・スイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。
- 3 機械を操作する前にバッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。



作業台を位置につける

- 1  リフト機能セレクトボタンを押します。
- 2  リフト機能作動ボタンを押したままにしてください。
- 3  リフト／走行・セレクタースイッチをリフトの位置に動かします。(ついている場合)
- 2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 3 操作パネルのマークに従ってコントロールハンドルを動かします。



操作手順

CEモデル：作業台が下がったときは、地上から2.1 mのところまで停止します。作業台の下に人がいないか、また物が置かれていないか確認してから作業を継続してください。続けて作業台を下げる場合は、操作ハンドルを離し、5秒間待ってから再度操作ハンドルを動かしてください。

ステアリング

- 1  走行機能セレクトボタンを押します。
 リフト／走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。
- 2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 3 ステアリングホイールを操作ハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

走行

- 1  走行機能セレクトボタンを押します。
 リフト／走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。(ついている場合)
- 2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。
- 3 速度を上げる：操作ハンドルを中心の位置からからゆっくり動かします。

速度を下げる：操作ハンドルを中心へ向かってゆっくり動かします。

停止する：操作ハンドルを中心の位置へ戻すか、機能作動スイッチを解除します。

作業台操作と作業台の色別された方向矢印で、機械が進む方向を確認してください。

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されます。

バッテリーの状態は機械の性能に影響します。バッテリー低下表示ランプが点灯しているか、バッテリーレベル表示器のランプが最後に点滅していた場合、機械の走行速度と機能速度は低下します。

エラー表示ランプがオンの場合



エラー表示ランプがオンの場合、非常停止ボタンを押しその後非常停止ボタンを引いてシステムをリセットしてください。

ランプがオンのままであれば、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

作業台の伸長と格納

- 1 作業台踏み板の作業台伸長解除ペダルを踏みませず。
- 2 作業台手すりを慎重に持って押し、作業台を中央停止位置まで伸長します。
- 3 再び解除ペダルを踏んで作業台が完全に伸長するまで押します。

作業台を伸長しているときは、作業台延長部に立たないでください。

- 4 作業台延長解除ペダルを踏み、作業台を中央停止位置まで引いて収縮させます。再び解除ペダルを踏んで作業台を完全に収縮させます。

コントローラによる地上からの操作

オペレータ、機械、固定されたもの間は安全な距離を保ってください。

コントローラを使用しているときは機械の進む方向に注意してください。

毎回使用後

- 1 固い水平な地面で、物の破片や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。
- 2 作業台を下げてください。
- 3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。
- 4 輪止めをかましてください。
- 5 バッテリーを充電します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- ☑ 外部充電池またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genieが承認するバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーの充電

- 1 バッテリーを充電する前にバッテリーが接続しているかどうか確認してください。
- 2 バッテリーコンパートメントを開けます。コンパートメントは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れてください。充電の前には入れすぎないでください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。
- 5 充電器を接地した AC 回路に接続してください。
- 6 充電器をオンにしてください。
- 7 バッテリーの充電が終わると充電池がそれを表示します。
- 8 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。
- 2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れてください。

バッテリー充電のサイクルが終了するまではいっぱいに入れないでください。入れすぎますと、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

- 3 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

輸送手順



必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは常識的な判断と計画をもって機械の動きをコントロールしてください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せているときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 車両の容量、積載位置、チェーン、ストラップが機械の重量に耐えうる十分なものであることを確認してください。仕様のセクションを参照してください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、機械を水平な地面に止めてあるか、もしくは固定していなければなりません。

輸送用トラックまたはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定してください。

積載荷重量に対して余裕のあるチェーンやストラップを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

ゆるんでいたり、固定されていない箇所がないかどうか点検してください。

ブレーキ解除操作

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 シャーシの荷締め箇所の移動のためにウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認してください。
- 3 ブレーキバルブを開けるためにブレーキ解除ノブを半時計回りに回してください。
- 4 ブレーキ解除ポンプノブを上下に動かしてください。

機械を載せたら：

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 ブレーキをリセットするためにブレーキ解除ノブを左（反時計回り）に回してください。

Genie GS-1530 や GS-1930 を牽引することは勧められません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

ステッカー

ステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下記は数量と詳細の番号リストです。

品番	名称	数量
28161JA	警告 — 手のケガ	2
28164JA	注記 — 危険資材	1
28171	ラベル — 禁煙	1
28174JA	作業台への電源 230V	2
28175JA	注意 — コンパートメントへのアクセス	1
28176JA	注記 — 紛失した説明書	1
28235JA	作業台への電源 115V	2
28236JA	警告 — 読むことを怠った...	1
31060JA	危険—リミットスイッチは変えないでください	2
31508JA	注記 — バッテリー充電器への電源	1
31785JA	注記 — バッテリー充電器の操作 操作指示	1
37145JA	ラベル — 手動下降	1
40434JA	ラベル — 荷締め用箇所	3
43089JA	注記 — 操作手順 — 地上	1
43090JA	注記 — 操作手順 — 作業台	1
43091JA	危険 — 一般安全規則	1
43092JA	注記 — 最大積載荷重 272 kg、 GS-1530 ANSI、CSA	1
43093JA	注記 — タイヤ仕様	4
43094JA	地上操作パネル	1
43616JA	バッテリー接続図	1
43617JA	危険 — 転倒 (バッテリー)	1
43618	ラベル — 方向矢印	2
43619JA	ラベル — 安全アーム	1
43658JA	ラベル — 充電器への電源 230V	1
43696JA	危険 — 感電の危険	2

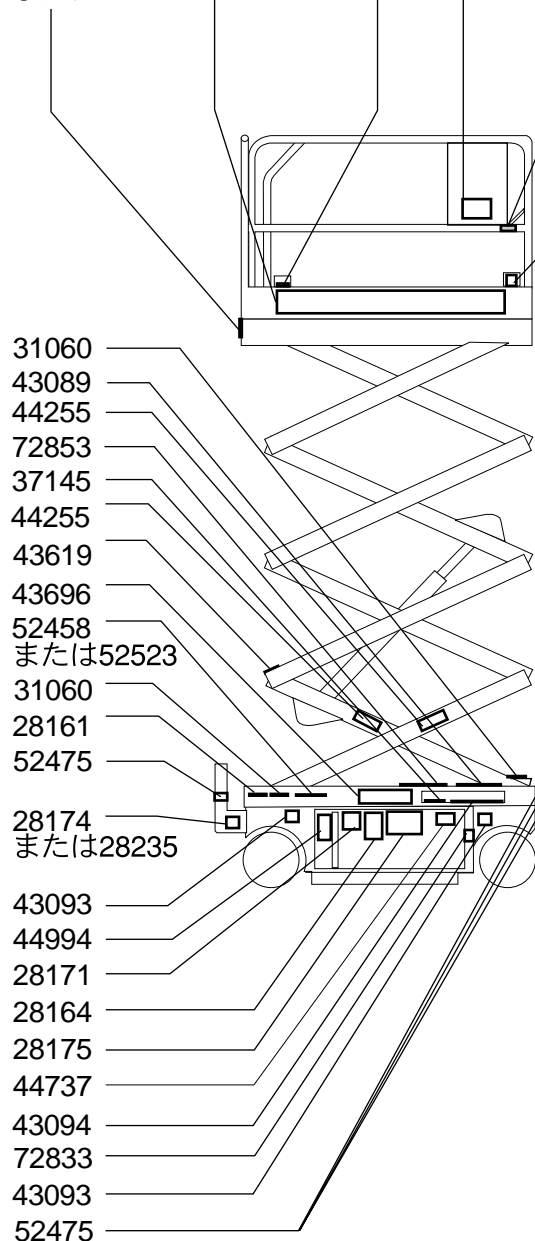
品番	名称	数量
44220JA	危険/注記 — ブレーキ解除の安全と 操作手順	1
44253JA	注記 — 側方圧力 445N、ANSI、CSA	1
44254JA	注記 — 最大積載荷重 227 kg、 GS-1930 ANSI、CSA	1
44255JA	危険 — 破砕の危険	4
44736JA	危険 — 傾斜アラーム	1
44737JA	危険 — 転倒、台飛出し	2
44753JA	ラベル — LED 診断読み出し	1
44980JA	ラベル — 充電器への電源 115V	1
44994JA	ラベル — 作動油量/Dexron	1
46238JA	注記 — エラー表示ランプ	1
46262JA	危険 — バッテリー/充電器の安全	1
52060JA	注記 — 側方圧力と風速、CE	1
52061JA	注記 — 最大積載荷重 227 kg、 GS-1930、CE	1
52062JA	注記 — 最大積載荷重 272 kg、 GS-1530、CE	1
52458	シリアルプレート、CE	1
52475JA	ラベル、輸送の荷締め	5
52523	シリアルプレート、ANSI、CSA	1
52864	作業台操作パネル	1
62053	Genie GS-1530	2
62054	Genie GS-1930	2
65052JA	ラベル — ECM 欠陥コード	1
78025JA	注記、側方圧力、オーストラリア	1
72833JA	ラベル、オープンラッチ	2
72853JA	危険、不適切な使用による危険	1

ステッカー

52060
または44253
または78025

62053
または62054

40434 43618 40434 28174または
28235



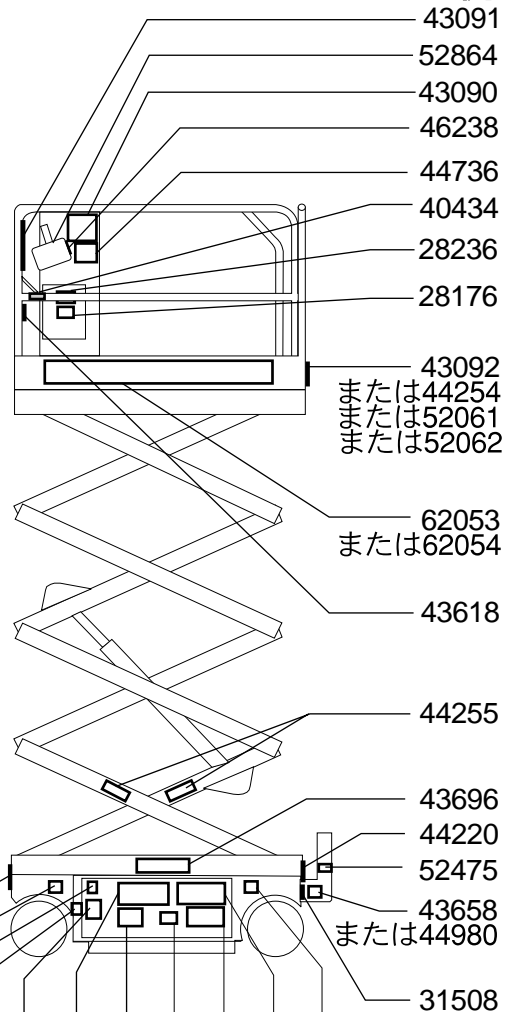
地上操作側

作業台が下がっているときに隠れている
ステッカーもあります。

43093 72833 46262 44737 31785

28161 44753 65052 43617 43616 43093

バッテリー側



床位置での積載

原則

床位置での積載のセクションでは、機械の床面への2つの特有の圧力に関して記載しています。

床荷重表

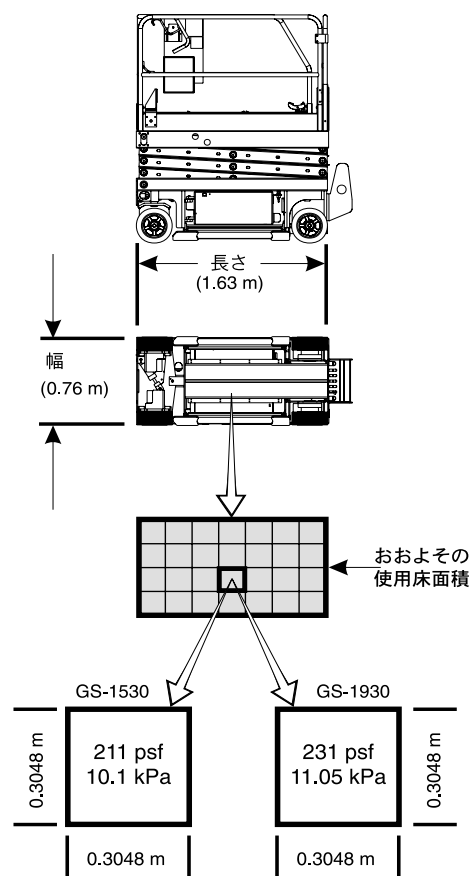
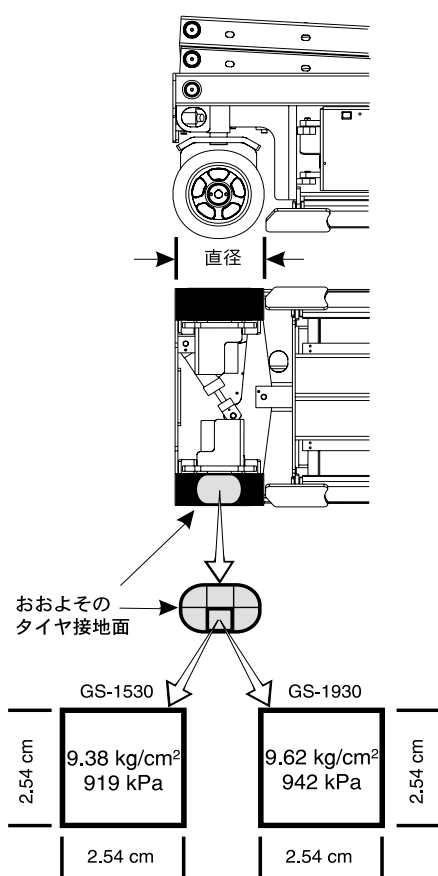
モデル	GS-1530	GS-1930
GVW + 許容荷重	1478 kg	1568 kg
軸荷重 最大	1088 kg	1115 kg
輪荷重 最大	544 kg	558 kg

局部圧力（タイヤごと）

この測量値は、機械の下の床面に局部的に高い圧力がかかることによる損傷の防止に関連しています。

車体使用面積当たりの圧力

この測量値は、梁で支えられた床面または表面上での機械の使用に関連しています。機械による車体使用面積当たりの圧力は、床面もしくは表面が支えることのできる範囲を越えてはなりません。



仕様

モデル	GS-1530	GS-1930
高さ、操作時 最大	6.4 m	7.7 m
高さ、作業台 最大	4.6 m	5.8 m
高さ、作業台収納時 手摺りを上げた状態 - CE	203.7 cm	209.6 cm
高さ、作業台収納時 手摺りを上げた状態 - ANSI	192.8 cm	198.6 cm
高さ、作業台収納時 手摺りを下げた状態	188 cm	193.8 cm
高さ、作業台収納時 手摺りを除く	93 cm	98 cm
高さ、手摺り	102 cm	102 cm
幅	76.2 cm	76.2 cm
長さ、収納時	183 cm	183 cm
奥行き、作業台伸長時	257.8 cm	257.8 cm
最大積載荷重	272 kg	227 kg
ホイールベース	132.1 cm	132.1 cm
旋回半径 (外径)	154.9 cm	154.9 cm
旋回半径 (内径)	0 cm	0 cm
最低地上高さ	6.7 cm	6.7 cm
最低地上高さ ポットホールガード配置	2.2 cm	2.2 cm
重量	1205 kg	1326 kg
登坂力	30%	30%
騒音 通常作業のワークステーションでの最大音量 (A-重量)		>70 dB

電源	バッテリー 4、6V 245AH	
操作	比例制御	
作業台寸法 (長さ×幅)	158 × 65 cm	
作業台延長部長さ	1 m	
作業台ACコンセント	標準	
リリース圧 (機能)		
GS-1530	207 パール	
GS-1930	241 パール	
タイヤサイズ	12 × 4.5 × 8 インチ	
油圧タンク容量	20.8 リットル	
走行速度		
収納時、最大	4.0 km/時	
作業台伸長時、最大	0.7 km/時 12.5 m / 55秒	
機能速度	GS-1530	GS-1930
作業台上昇	16 秒	16 秒
作業台降下	17 秒	23 秒

Genieでは製品の改良を重ねていくことを方針としています。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。

Genie Holland
Tel. 31 70 51 78836
Fax 31 70 51 13993

Genie Denmark
Tel. 45 6612 5544
Fax 45 6612 5530

Genie France
Tel. 33 2 37 26 09 99
Fax 33 2 37 31 11 95

Genie Spain
Tel. 34 93 579 5042
Fax 34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. 49 4202 8852-0
Fax 49 4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. 44 1636 614700
Fax 44 1636 611090

Genie Mexico City
Tel. 52 5 653 03 84
Fax 52 5 664 40 16

Genie North America
Tel. 425.881.1800
Free Dial 米国およびカナダ
800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. 1 61 7 3375 1660
Fax 1 61 7 3375 1002

Genie China
Tel. 86 21 53852570
Fax 86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. 604 228 1235
Fax 604 226 6872

Genie Japan
Tel. 81 3 3453 6082
Fax 81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. 82 2 558 7267
Fax 82 2 558 3910

Genie Africa
Tel. 27 11 974 6838
Fax 27 11 974 6797

Genie Latin America
Tel. 55 11 4055 2499
Fax 55 11 713 1661

代理店：